

第2次恵那市地域計画

上矢作地域自治区

【キャッチフレーズ】

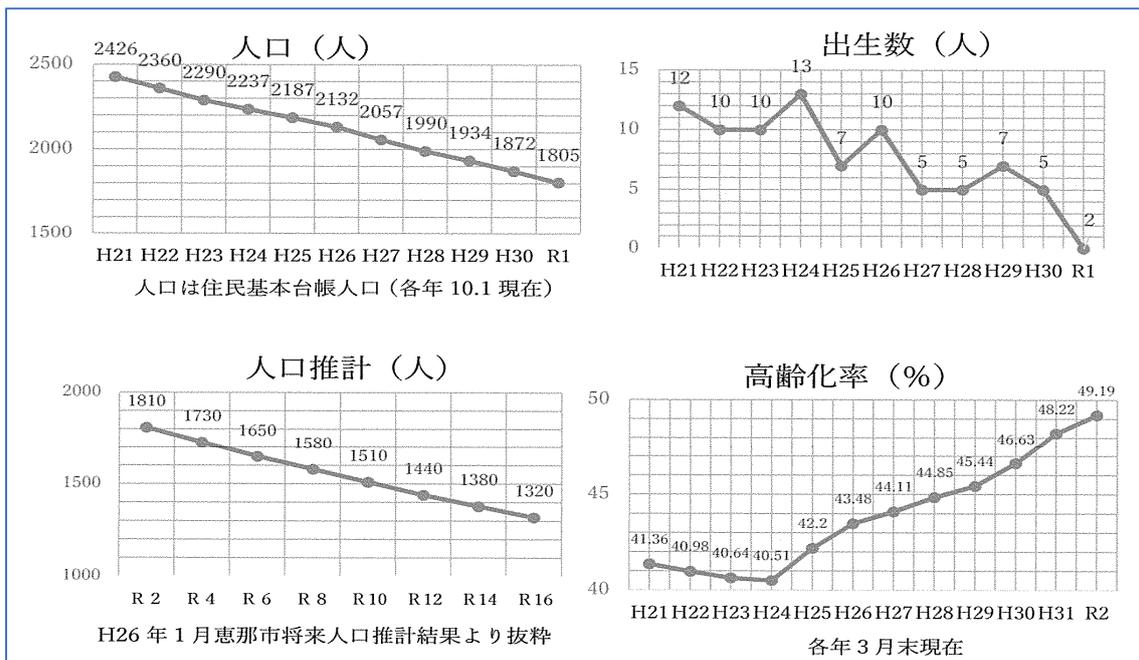
子どもからお年寄りまで 安心して暮らせるまち 上矢作
～ほかほか安心 きらきら輝く いきいき元気 わくわく楽しい かみやはぎ～

【現状と課題】

上矢作町は恵那市南部に位置し、山と清流に恵まれた自然豊かなまちです。合併前より「福寿の里上矢作」として国保上矢作病院、保健センター、歯科診療所、特別養護老人ホーム福寿苑などが整備され、住民にとって健康で安心な暮らしのよりどころとなってきました。こうした豊かな自然とあたたかい人のつながり、充実した医療・福祉体制に町民は愛着と誇りを持っています。

一方、上矢作町では人口が1,800人を割り、人口減少率は市内で最も高く、高齢化率が50%を超える勢いとなっています。特に子どもの減少が著しく少子高齢化が深刻な問題となっています。また、町民アンケートでは、免許返納に伴う交通手段の確保、病院の存続、地域の存続、空き家の管理等、様々な不安を持っていることがわかりました。

こうした現状を踏まえ、人口減少に歯止めをかけ、生活の不安を解消し、持続可能な地域づくりを進めることが上矢作町にとって喫緊の課題となっています。



【目指すべき地域の姿】

- 地域の自然とあたたかい人のつながり、上矢作病院を中心とした医療・福祉体制に愛着と誇りをもち最大限に活かしていきます。
- 地域住民は、「おたがいさま」の「相互扶助」の精神で助け合い、こどもからお年寄りまで、生き生きと元気に活躍できるまちづくりを進めます。
- 日帰り圏内に住む家族や観光客との交流促進や空き家および耕作放棄地対策、鳥獣害対策などに取り組み、地域の活性化と移住定住促進に繋がります。
- 世代を越えたメンバーで新しい第2次地域計画実行組織をつくり、次世代の担い手を育成しながら、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域コミュニティづくりを推進します。
- 地域住民の参画を促すことで多様な価値観の交流や、より地域住民が主役となったまちづくりを目指します。

【計画の柱（基本目標）】

1. ほかほか安心！ 『いつでも、いつまでも誰もが安心ほっとするまち』

上矢作病院や福祉施設を地域住民が積極的に利用・活用し、上矢作病院を核に、地域住民が健康づくりに取り組み、まめでぴんころ健康長寿のまちづくりを目指します。



移送サービス



健康ウォーク

2. きらきら輝く！ 『豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作』

自然、観光資源を活用して町内外の人達が交流することで、にぎわいが生まれるまちづくりに取り組んでいきます。



道の駅上矢作ラ・フォーレ福寿の里



投網漁

3. いきいき元気！ 『農林業を活かした躍動する元気なまち』

山林、農地を健全に保全しつつ、有効的に活用し、地域住民が協力し合い、山林、農地を活かした産業の循環ができるまちづくりを目指します。



サル檻設置



クマ檻設置

4. わくわく楽しい！ 『知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作』

地域住民の絆を大切に、若い世代や、子ども達がまち特有の歴史・文化を学び、郷土愛を育めるまちづくりを推進することで、住み続けたいまちづくりを目指していきます。また、他地域からの移住受入体制を充実させると共に、上矢作町の魅力や情報を町内外に継続的に発信し定住促進を図ります。



福寿太鼓



学童保育「ひなたぼっこ」

【基本施策】

○計画の柱1：ほかほか安心！ 『いつでも、いつまでも誰もが安心ほっとするまち』

(1) 地域ぐるみで健康長寿を目指すまちづくり

日常診療から救急、検診、予防活動など、いつでも安心して受診することができる上矢作病院を地域ぐるみで利用・活用する等、地域住民が連携し支援することで町民の健康長寿を目指します。

(2) 健康づくり活動や高齢者、障がい者などの生活サポートの充実

病院、歯科診療所、保健センターと地域が連携した健康づくり活動を推進し、地域住民の健康長寿を目指します。また、買い物や外出などの

日常生活支援を継続し、地域住民が安心して暮らすことができる環境づくりに取り組みます。

(3) 安心して快適なまちづくり

安心して暮らせるまちづくりのため、非常事態に備えたライフラインの整備を要望していきます。また、ご近所同士で助け合いや見守りができる体制づくりを進めます。

○計画の柱2：きらきら輝く！『豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作』

(1) 観光施設の充実による賑わいのあるまち

道の駅をはじめとした、観光施設周辺において、地域の人が集まり、利用できる環境づくりを進め、町内外の交流の場に繋げるような取り組みを充実させます。

(2) 清流を活かしたまちづくり

町内の河川や宿泊施設を中心に、上矢作で泊まって楽しめる環境づくりを推進します。

(3) 観光資源の再発見と情報発信の推進

新田の桜や松並木等の文化財や地域で育ててきた自然及び景観を地域で守り、継承していきます。また、新たな特産品の開発や観光・文化資源を活用した取り組みを積極的に情報発信していきます。

○計画の柱3：いきいき元気！『農林業を活かした躍動する元気なまち』

(1) 農地の有効活用

営農組合や農業関係者を中心に、生産物、収穫物の流通の仕組みや事例を研究します。

(2) 鳥獣被害対策

上矢作鳥獣害対策協議会や猟友会と連携をとりながら、地域ぐるみで鳥獣被害対策に取り組んでいきます。

(3) 地域環境を守り、森林づくり活動に対する協力体制

地域環境の美化や不法投棄を防ぎ、間伐など森林保全に対する関心を高める活動により、災害に強い森づくりを進めます。また、木材は建築材以外の活用法も見つけ需要拡大を図っていきます。

○計画の柱4：わくわく楽しい！『知恵と、技、喜びをつなげるふるさと上矢作』

(1) 人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動

地域のお年寄りから子育て世代、若者から子どもまで、年代関係なくコミュニケーションをとり、地域の歴史継承・文化体験を行うイベント等に関わるきっかけをつくり参加することで、地域の絆を深め郷土愛を育みます。

(2) 安心子育て支援

地域の豊かな自然と文化、町の人々の力を生かして地域の特色ある保育、小学校、中学校教育を支援し、子育て世代へのサポート活動の充実を図ります。

(3) 移住、定住者に向けた活動の充実

移住者を呼び込み、サポートする体制の充実を図ります。また、まちの空き家や空農地等の情報を幅広く収集し、町内外への移住・定住に関わる情報発信を推進します。

【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱1：訪れたいまち （3）新しい観光資源の活用・リピーター対策 柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加推進 柱1：賑わいと活気のあるまち （2）団体やイベントの相互連携による賑わいと活気 柱1：今ある自然を資源として活かそう （1）既存施設の充実と見直し 柱2：豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作 （1）観光施設の充実による賑わいのあるまち
取り組み内容	
◎広域観光による地域活性化（観光） 共通パンフレット・観光周遊コースの作成、イベント共催など広域で行うことにより魅力アップにつなげ観光客・交流人口の増加を目指します。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成） 柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加・推進 柱4：郷土の魅力と誇りを次世代へ （1）郷土に学ぶ 柱2：響け！伝統文化と学びで繋がる串原 （4）人材育成と活用 柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動
取り組み内容	
◎文化や人材の交流による人材育成確保（文化） 恵南地域間における文化交流、人材交流等を深め、互いの地域の魅力を高め合うと同時に、伝統文化の保存伝承と後継者育成に努めます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成） 柱4：多くの町民が参画する活力あるまち （1）新たな仕組みづくり・雰囲気づくり 柱3：若者を中心とした地域力の向上 （1）若者が活躍できるまち 柱3：世代交代と耐える力 （4）次世代リーダーの育成 柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動
取り組み内容	
◎恵南地域の若者達の能力活用と支援 若い力を活用した地域づくりを、恵南地域の若者達による話し合う機会を経て進め、事業の実践に繋げられるよう支援していきます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱2：住み続けたいまち （3）交通手段の確保 柱2：安全で安心して暮らせるまち （3）地域が家族になる「あんじゃない」のまち 柱2：安心していつまでも住み続けられるまち （4）地域の安全・安心な交通の確保 柱3：世代交代と耐える力 （3）住民同士の支え合い 柱1：いつでも、いつまでも誰もが安心ほっとするまち （3）安心で快適なまちづくり
取り組み内容	
◎高齢化社会に対応した、交通弱者対策などの地域福祉力の向上（福祉） 公共交通機関の利用が困難な方の、通院や買物のための移動手段確保などによる日常生活支援や、近くで買い物できる移動販売車などの運営を通して、地域福祉力の向上を図ります。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 5px;">[</div> <div style="margin-right: 10px;">☆</div> <div>山岡町</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 5px;">[</div> <div style="margin-right: 10px;">☆</div> <div>串原</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 5px;">[</div> <div style="margin-right: 10px;">☆</div> <div>上矢作町</div> </div>	<p>柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち (1) 地域資源を活かした体験型プログラムによる交流 機会の提供</p> <p>柱1：今ある自然を資源として活かそう (2) 田畑等の維持・山林の利活用</p> <p>柱1：農林業を活かした躍動する元気なまち (3) 地球環境を守り、森林づくり活動に対する協力 体制</p>
<p>取り組み内容</p>	
<p>◎木の駅等を活用した自然環境の保全と、地域通貨導入の検討（環境）</p> <p>間伐促進等による地球環境整備と森林保全による災害防止を図りつつ、木の駅プロジェクトの導入により、間伐材等の有効利用と、地域通貨による活性化の輪を広げていきます。また、山林が若者の雇用の場となるよう支援します。</p>	